

【国】第4次食育推進基本計画の作成に向けた進め方（案）

	＜前回＞	＜今回＞
	第3次基本計画 （実績）	第4次基本計画 （見込み）
＜第4年度（R元年度）＞	H26（2014）年度	R元（2019）年度
第3次基本計画の進捗状況 及び第4次基本計画作成に 向けた主な論点	27（2015）・3	2（2020）・3
↓	↓	↓
＜第5年度（R2年度）＞	H27（2015）年度	R2（2020）年度
パブリックコメント		2（2020）6・5 ～2（2020）7・4
重点課題等ヒアリング①		2（2020）・8・18
重点課題等ヒアリング② 重点課題の方向性	27（2015）・6	2（2020）・10・1
第4次基本計画骨子（案）	27（2015）・8	2（2020）・11下旬～12月上旬
第4次基本計画（案）	27（2015）・12	R3（2021）・1中下旬
パブリックコメント	H27（2015）・12 ～H28（2016）・1	3（2021）・1中下旬～ （最短2週間程度）
第4次基本計画（案）	H28（2016）・2	3（2021）・3上中旬
第4次基本計画の決定 （食育推進会議）	28（2016）・3	3（2021）・3

【国】第4次食育推進基本計画の重点課題の方向性(案)

第3次食育推進基本計画

<コンセプト>

実践の環を広げよう

第4次食育推進基本計画

<コンセプト>

SDGsの実現に向けた食育の推進

<重点課題>

- (1)若い世代を中心とした食育の推進
- (2)多様な暮らしに対応した食育の推進
- (3)健康寿命の延伸につながる食育の推進
- (4)食の循環や環境を意識した食育の推進
- (5)食文化の継承に向けた食育の推進

<主な論点>

- ・新しい生活様式では、家族と過ごす時間が増える一方で、例えば地域での共食など、これまでと同様な取組が難しい状況
- ・デジタル化の推進、暮らし方や働き方の変化に応じた食育を推進していく必要
- ・高齢化の中で、健康寿命の延伸が課題であり、子ども(乳幼児期を含む)から高齢者まで生涯を通じた食育の推進が重要
- ・栄養士・栄養教諭等が関係者と連携して、食育が乳幼児期から体系的・継続的に実施されることが必要
- ・家庭において、早寝早起きや朝食をとること等の基本的な生活習慣の形成が重要
- ・職場等で健全な食生活を実践しやすい環境づくりが重要
- ・食品の選び方等基礎的な知識を持ち、行動することが必要

<食をめぐる現状>

- ・新たな生活様式への対応
- ・デジタル化
- ・SDGsへのコミットメント
- ・少子高齢化
- ・成人男性の肥満、若い女性のやせ、高齢者の低栄養
- ・単独世帯や共働き世帯の増加
- ・地域社会の活力低下
- ・食の外部化の進展
- ・食や食に関する情報の氾濫
- ・食料自給率37% (平成30年、加リーベ-ス)
- ・食品ロス612万トン (平成29年度推計)

<重点課題の方向性>

- (1)新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進
- (2)生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
- (3)持続可能な食の「3つのわ」を支える食育の推進

<めざす到達点>

SDGsの実現に向けた食育の推進

- ・心身の健康の増進と豊かな人間形成
- ・持続可能な食・フードシステムの構築

【国】第4次食育推進基本計画の重点課題の考え方（案）

食をめぐる現状

- ・新しい生活様式への対応
 - ・社会のデジタル化への対応
 - ・SDGsへのコミットメント
- ・成人男性の肥満、若い女性のやせ、高齢者の低栄養
 - ・少子高齢化
 - ・単独世帯や共働き世帯の増加
 - ・食の外部化の進展
- ・地域社会の活力低下
 - ・食料自給率37%（平成30年、カロリーベース）
 - ・食品ロス612万トン（平成29年度推計）
 - ・食や食に関する情報の氾濫

＜重点課題＞新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進

- 今後の食育を推進するにあたり重点をおく取組
 - ・あらゆる食育の推進においてデジタル（オンライン）を有効活用
 - ・「食育推進プラットフォーム（仮称）」を活用した食育推進体制の強化と効果的な情報発信

＜重点課題＞生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

- ### ＜推進する内容＞
- 家庭における食育の推進
 - ・乳幼児期からの基本的な生活習慣の形成に資する食育の推進
 - ・食事を楽しみ、つながりを大切にする食育の推進
 - 地域における食育の推進
 - ・食生活の多様化を踏まえた「日本型食生活」の推進
 - ・健康寿命の延伸につながる食育の推進
 - ・生涯を通じた切れ目のない食育の推進
 - ・歯科保健活動における食育の推進
 - ・様々な共食機会創出の推進
 - 学校・保育所等における食育の推進
 - ・栄養士・栄養教諭等を中核として、関係者が連携した食育の体系的・継続的な実施の推進
 - 職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進
 - 食関連事業者における食育の推進
 - ・安全で健康的な食事が入手可能な環境づくりの推進
 - ・健康支援型食サービス等の推進や介護食品の普及促進

＜重点課題＞持続可能な食の「3つのわ」を支える食育の推進

- ### ＜食の環＞
- 環境と調和のとれた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進
 - ・食品ロス削減や、生物多様性の保全に効果の高い営農活動等持続的な生産方法や資源管理等に関して、理解と関心の増進のための普及啓発の促進
 - ・持続可能な食・フードシステムにつながるエシカル消費の推進
 - ・多様化する消費者の価値観に対応したフードテックの理解醸成
 - 食品ロス削減に資する食品関連事業者等の取組の促進
- ### ＜食の輪＞
- 食料の生産から消費に至る食の循環を意識するとともに、食の循環を担う多様な主体の「食の輪（つながり）」を広げ深める食育の推進
 - ・生産者等や消費者との交流の促進、地産地消の推進
 - 関係機関・団体と連携した農林漁業体験の推進
 - 学校設置者と生産・流通部局及び農林漁業者との協働による、学校給食における地場産物・国産食材の使用の推進
- ### ＜食の和＞
- 和食文化の次世代への継承につながる食育の推進
 - ・中核的人材の育成等の体制の強化
 - ・子どもや子育て世代が手軽に和食に接する機会を増やす産学官協働の取組の推進
 - 地域の多様な和食文化の継承につながる食育の推進
 - ・郷土料理等のデータベースの構築
 - ・和食が持つ文化財としての価値の評価・見える化の推進

○国、地方公共団体等の食育の推進における役割

- ・「早寝早起き朝ごはん」国民運動等を含めた食育関連施策の推進や各主体による食育の支援、優良取組事例の発信
- ・市町村食育推進計画の作成促進
- ・食品表示の理解促進 等

国民の健全な食生活の実現

環境と調和のとれた持続可能な食料の生産及び消費の推進並びに食料自給率の向上

豊かな食文化の継承及び発展

地域社会の活性化

心身の健康の増進と豊かな人間形成

SDGsの実現に向けた食育の推進

持続可能な食・フードシステムの構築